

### 3 質問紙調査の結果から

#### (1) 授業における目標(めあて・ねらい)の提示と学習内容を振り返る活動



ここからは、質問紙調査の中から授業に関する項目に焦点を当てて見ていきましょう。児童生徒質問紙と学校質問紙の結果から、どのようなことが分かるでしょうか。

「目標の提示」については、小6・中3ともに、肯定的回答の割合が増加する傾向があります。

「振り返る活動」については、「よく行われている」と回答した児童生徒および「計画的に取り入れている」と回答した学校が少ないことが分かります。

「目標の提示」や「振り返る活動」について、児童生徒と学校の捉え方に差があることが分かります。授業の目標を児童生徒が主体的に意識できるようにするとともに、本時の学習内容の内面化を図るような振り返る活動を工夫していきましょう。



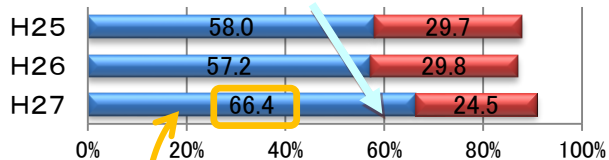
小6    中3    …児童生徒質問紙    小学校    中学校    …学校質問紙

#### 目標(めあて・ねらい)の提示

■はい    ■どちらかといえば、はい

小6

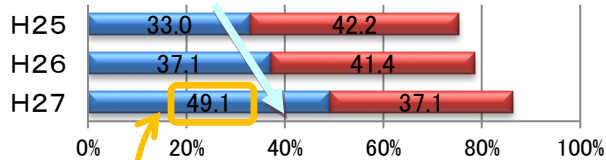
授業のはじめに、目標(めあて・ねらい)が示されていたと思いますか



差 17.8%

中3

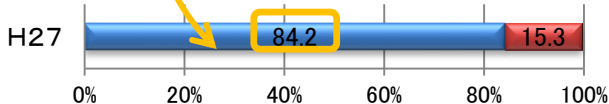
授業のはじめに、目標(めあて・ねらい)が示されていたと思いますか



差 23.9%

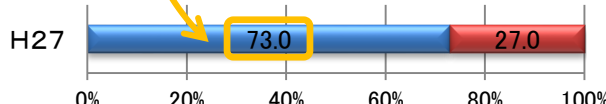
小学校

授業のはじめに、目標(めあて・ねらい)を示す活動を計画的に取り入れましたか



中学校

授業のはじめに、目標(めあて・ねらい)を示す活動を計画的に取り入れましたか

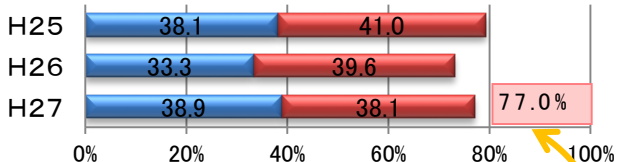


#### 学習内容を振り返る活動の実施

■はい    ■どちらかといえば、はい

小6

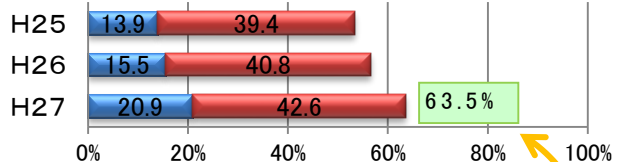
授業の最後に、学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか



差 15.1%

中3

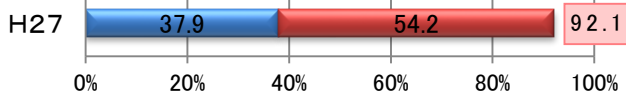
授業の最後に、学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか



差 29.1%

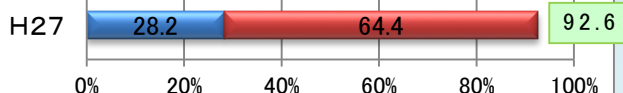
小学校

授業の最後に、学習内容を振り返る活動を計画的に取り入れましたか



中学校

授業の最後に、学習内容を振り返る活動を計画的に取り入れましたか



## (2) 話し合う活動の実施と児童生徒の思考の深まり・広がり

「話し合う活動の実施」については、小6・中3とも肯定的回答の割合が増加しています。

その一方で、「考えを深めたり、広げたりできている」と回答した児童生徒の割合は少ないことが分かります。

「考えを深めたり、広げたりできている」について肯定的に回答した児童生徒ほど、平均正答率が高いことが分かります。

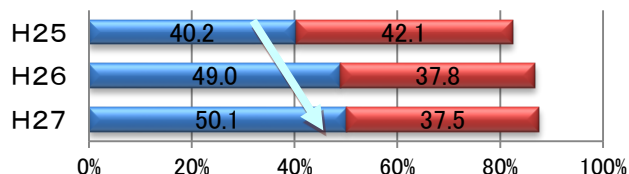
「児童生徒の考えを深め、広げる話し合う活動」とするために、話し合う活動で様々な考えを引き出したり、思考を深めたりできるような発問や支援を工夫していきましょう。



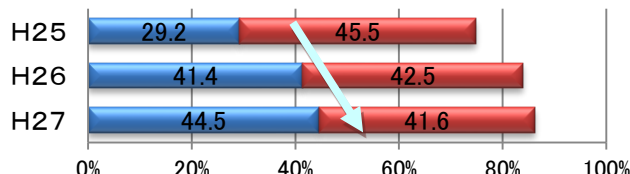
### 話し合う活動の実施

■はい ■どちらかといえば、はい

小6 話し合う活動をよく行っていたと思いますか



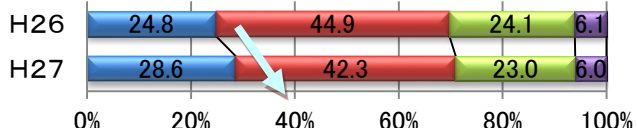
中3 話し合う活動をよく行っていたと思いますか



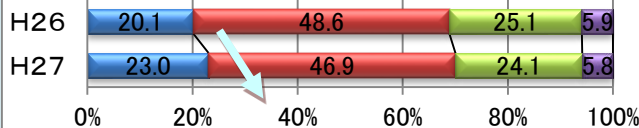
### 児童生徒の「思考の深まり・広がり」

■はい ■どちらかといえば、はい ■どちらかといえば、いいえ ■いいえ

小6 話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりできていると思いますか



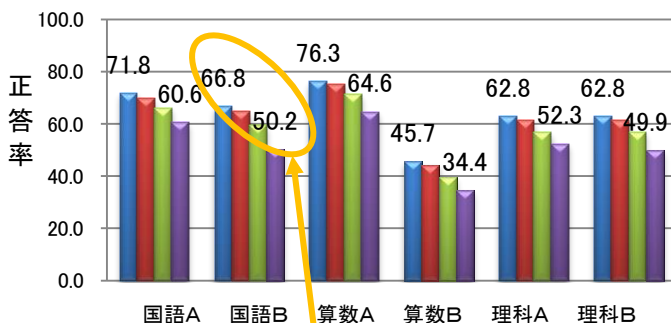
中3 話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりできていると思いますか



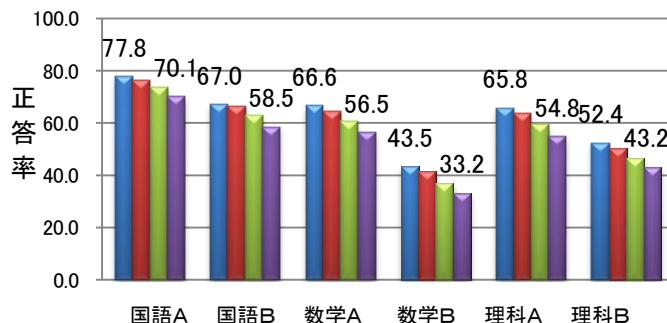
### 児童生徒の「思考の深まり・広がり」と教科の平均正答率とのクロス集計

■はい ■どちらかといえば、はい ■どちらかといえば、いいえ ■いいえ

小6 話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりできていると思いますか



中3 話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりできていると思いますか



「はい」と回答した児童の国語Bの平均正答率は66.8%、「いいえ」と回答した児童は50.2%で、その差が16.6ポイントであることを示しています。

### (3) 発表すること

小学校・中学校とも、85%以上の児童生徒が授業で自分の考えを発表する機会が与えられていたと回答しています。

発表することを得意であると感じている児童生徒は少ないことが分かります。

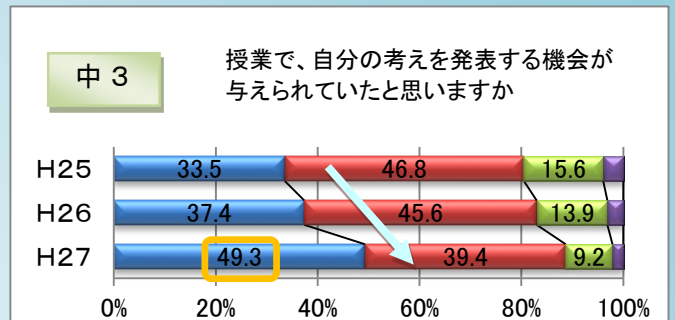
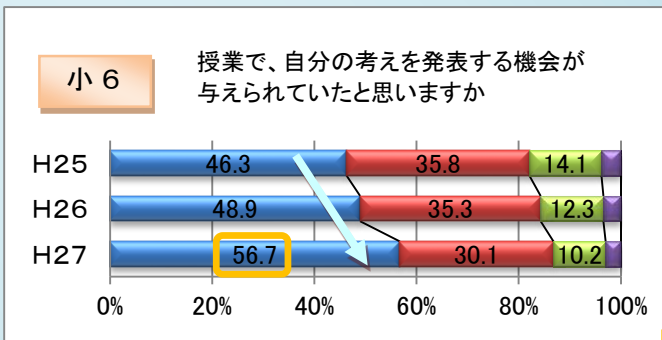
発表する機会が与えられていることについて、肯定的回答の割合が増加しており、言語活動の充実が図られていることが分かります。

今後は、何をどのように発表すればよいか視点を明確にしたり、自分の考えをまとめてから発表させたりするなど、指導方法を工夫・改善していきましょう。



#### 発表する機会

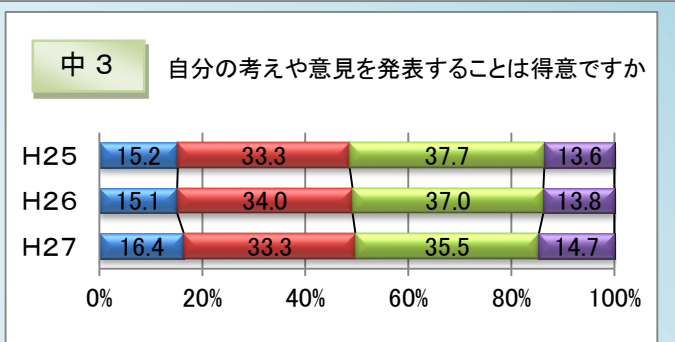
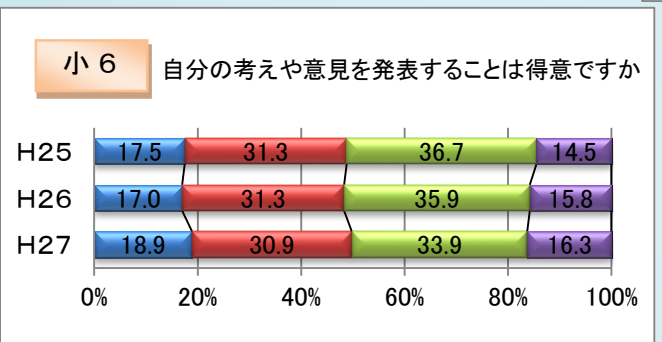
■はい ■どちらかといえば、はい ■どちらかといえば、いいえ ■いいえ



小6・中3ともに、「肯定的回答」が増加傾向にあります。特に、H26とH27を比較すると、「はい」と答えた児童生徒の増加の伸びが大きいことが分かります。

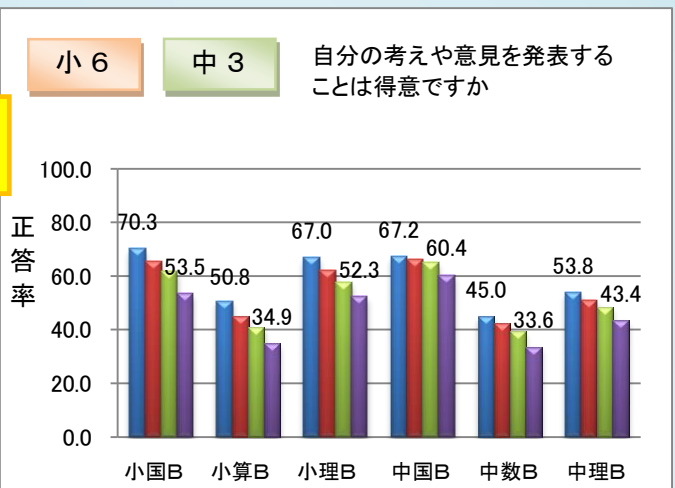
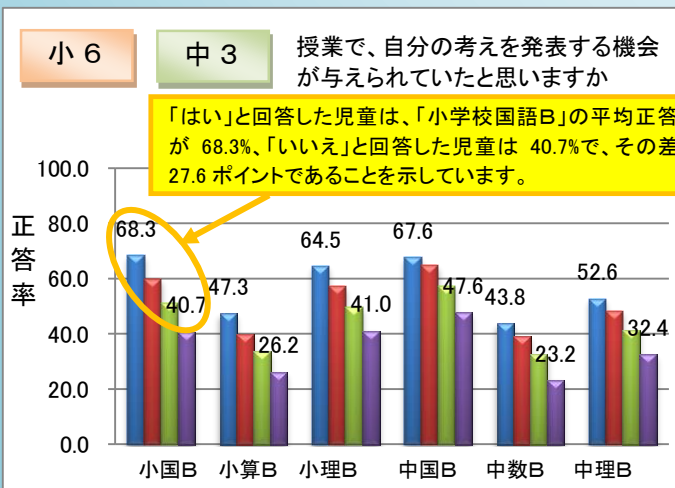
#### 自分の考えを発表することが得意

■はい ■どちらかといえば、はい ■どちらかといえば、いいえ ■いいえ



#### 自分の考えを発表することと教科の平均正答率とのクロス集計

■はい ■どちらかといえば、はい ■どちらかといえば、いいえ ■いいえ



#### (4) 自分の考えを書くことと考えたことを書かせる指導

国語や算数で、「分かるように書いている」について、「はい」と回答した小6の割合は年々増加しており、同様の傾向は中3でも見られます。

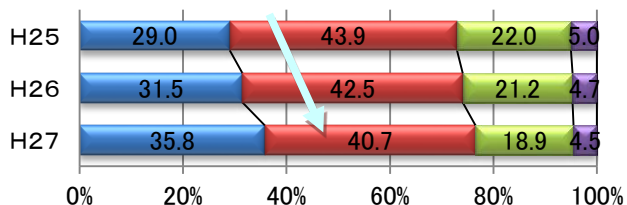
国語の授業で、自分の考えの理由が分かるように気を付けて書いている児童生徒ほど、国語だけでなく、他の教科の平均正答率も高い傾向にあることが分かります。

自分の考えを分かるように気を付けて書いている児童生徒が増加しています。今後はさらに、書く際の視点を明確にさせたり、書いたものを振り返って再び考させたりするなど、指導方法の改善を図っていきましょう。



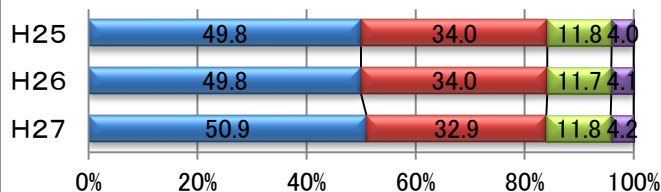
#### 自分の考えを分かるように書くこと

**小6** 国語の授業で、自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いていますか



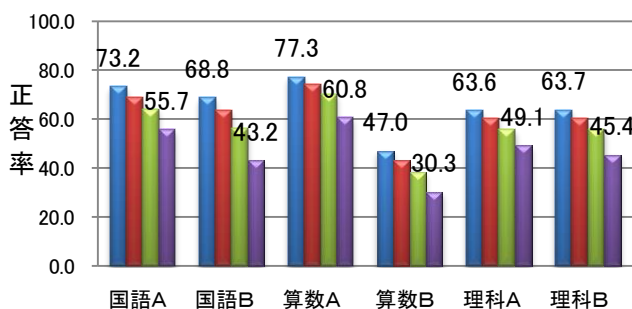
■はい ■どちらかといえば、はい ■どちらかといえば、いいえ ■いいえ

**中3** 数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか

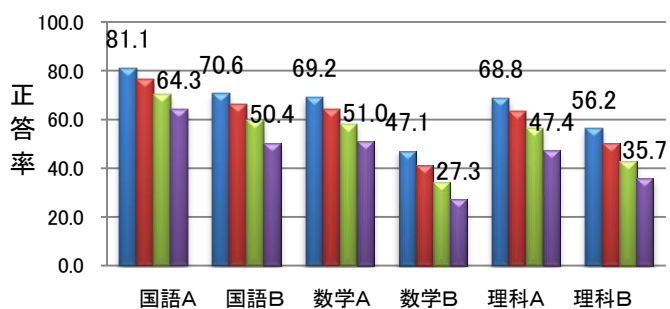


#### 自分の考えを分かるように書くことと教科の平均正答率とのクロス集計

**小6** 国語の授業で、自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いていますか



**中3** 数学の授業で、問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか

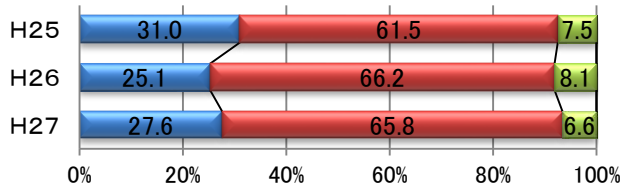


#### 考えたこと等を文章に書かせる指導

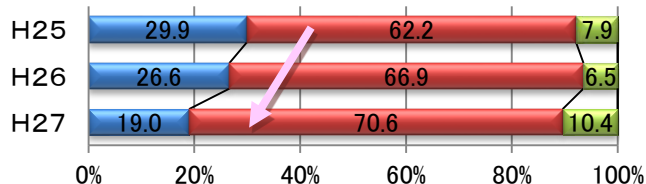
「分かりやすく文章に書かせる指導」について、「はい」と回答した学校の割合が、中学校では、年々低くなる傾向があることが分かります。

■はい ■どちらかといえば、はい ■どちらかといえば、いいえ ■いいえ

**小学校** 調べたことや考えたことを分かりやすく文章に書かせる指導をしましたか



**中学校** 調べたことや考えたことを分かりやすく文章に書かせる指導をしましたか



## (5) 調査結果の活用

調査の結果を県などの独自調査の結果と併せて分析し、教育指導の改善や指導計画等への反映をよく行ったと回答している学校の割合は増加していますが、全国に比べると、まだ低いことが分かります。

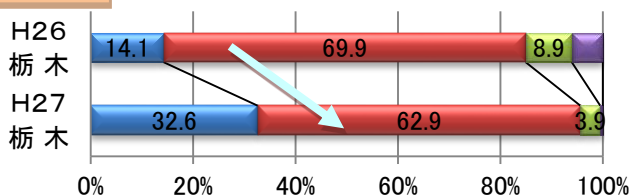
調査結果の活用と平均正答率とのクロス集計の結果から、調査結果を学習指導の改善や指導計画等へ反映させること、また、中学校においては、対象教科や学年だけでなく、学校全体で成果と課題を共有することが大切であることが分かります。



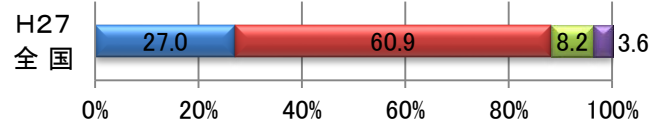
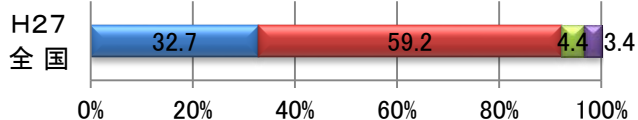
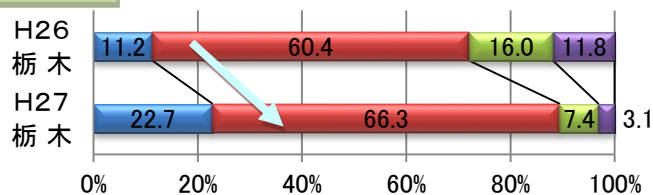
全国学力・学習状況調査の結果を地方公共団体における独自の学力調査の結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行っていますか

■よく行った ■行った ■ほとんど行っていない ■実施していない

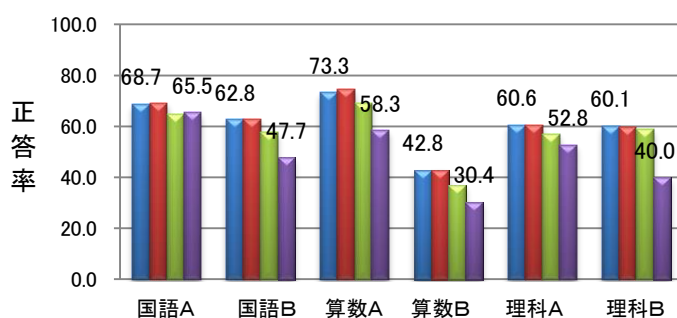
### 小学校



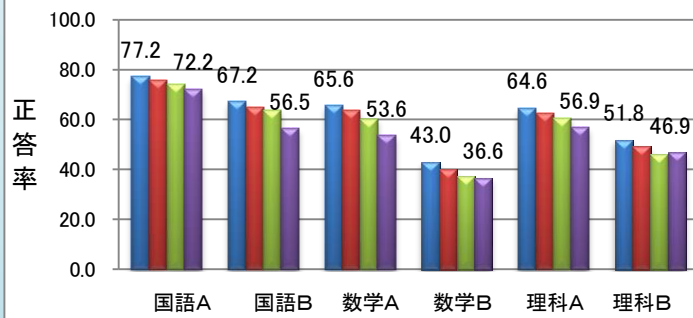
### 中学校



### H27 栃木県の小学校:教科とのクロス集計



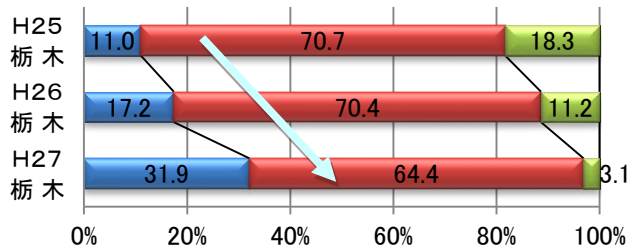
### H27 栃木県の中学校:教科とのクロス集計



全国学力・学習状況調査の結果を分析し、学校全体で成果や課題を共有しましたか

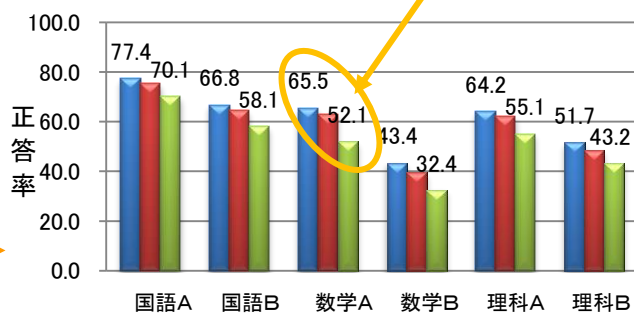
■よく行った ■行った ■ほとんど行っていない

### 中学校



「数学A」の平均正答率が、「よく行った」と回答した学校は65.5%、「ほとんど行っていない」と回答した学校は52.1%で、その差が13.4ポイントであることを示しています。

### H27 教科とのクロス集計



## 4 今後の取組について

本県では、平成26年度から「とちぎっ子学力アッププロジェクト」として、「とちぎっ子学習状況調査」を要とした学力向上に取り組んでいます。全国学力・学習状況調査の結果からは、学校の授業において目標（めあて・ねらい）の提示が定着してきていること、言語活動の充実に向けた取組が進められていることがわかります。

一方で、主として活用に関する問題（B問題）に依然として課題が見られることから、授業における取組が必ずしも児童生徒の思考力・判断力・表現力等の育成に結び付いていないことがうかがえます。また、自分の考えを書くことや学校における調査結果の活用については、引き続き課題であることが明らかになりました。

各学校においては、学びの連続性を重視するとともに、全国学力・学習状況調査結果等を活用し、とちぎの子どもたちの確かな学力向上に向け、学校全体で組織的に取り組んでいきましょう。



本県ではこれまで、「主体的に考え表現できる子どもを育てるために」、「平成26年度とちぎの子どもたちの学力向上を図る授業改善例」、「とちぎの子どもたちの基礎・基本」問題事例集〔基礎・基本編〕〔活用編〕などの資料を作成してきました。今回、新たに「平成27年度全国学力・学習状況調査」の結果を踏まえ、「とちぎの子どもたちの確かな学力向上のために ～授業改善に向けた3つの視点～」を作成しました。また、文部科学省からは、「報告書」、「授業アイデア例」など指導改善に向けた資料が出されていますので、併せて御活用ください。

とちぎの子どもたちの確かな学力向上のために



主体的に考え表現できる子どもを育てるために



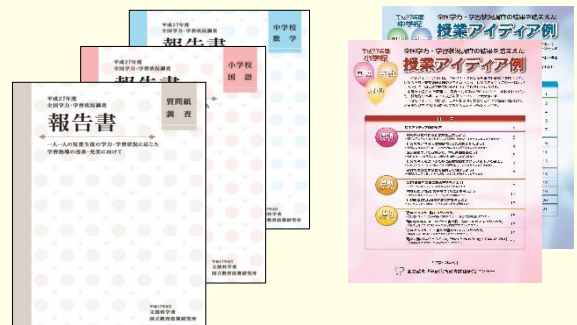
平成26年度とちぎの子どもたちの学力向上を図る授業改善例



「とちぎの子どもたちの基礎・基本」問題事例集〔基礎・基本編〕〔活用編〕



平成27年度全国学力・学習状況調査関連資料  
文部科学省 国立教育政策研究所 教育課程研究センター



○ 本リーフレット、「とちぎの子どもたちの確かな学力向上のために ～授業改善に向けた3つの視点～」、「主体的に考え表現できる子どもを育てるために」、「平成26年度とちぎの子どもたちの学力向上を図る授業改善例」、「とちぎの子どもたちの基礎・基本」問題事例集〔基礎・基本編〕〔活用編〕は栃木県のホームページから、「全国学力・学習状況調査の報告書」、「授業アイデア例」は文部科学省国立教育政策研究所のホームページから、それぞれダウンロードできます。

（栃木県ホームページ＞教育・文化＞学校教育＞学習指導・学力向上）

栃木県教育委員会事務局学校教育課学力向上推進室 〒320-8501 宇都宮市埜田1丁目1番20号 TEL 028-623-3367 FAX 028-623-3361